

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 (土木工事用・検査員)

適用基準日：令和6年4月1日

土木工事 ～ 考査項目別チェック表(検査員用)

2. 施工状況

I. 施工管理

チェック欄

- d ☐ 施工管理について、監督員が文書で改善指示を行った。
e ☐ 施工管理について、監督員からの改善指示に従わなかった。

◎上記事項に該当していないとき

●評価対象項目 チェック欄 ○…評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目(安易に評価しない項目)

- 1) ☐ ○ ☐ 契約書第18条第一項第1号～5号に基づく、設計図書の照査を行っていることが確認できる。
- 2) ☐ ○ ☐ ★ 施工計画書が工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。
- 3) ☐ ○ ☐ 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。
- 4) ☐ ☐ 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更を除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出されていることが確認できる。
- 5) ☐ ☐ 工事材料の品質に影響がないよう工事材料が保管されていることが確認できる。
- 6) ☐ ☐ 段階確認等の手続きを事前に行っていることが確認できる。
- 7) ☐ ☐ 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。
- 8) ☐ ○ ☐ 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。
- 9) ☐ ☐ ☆ 下請けに対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。
- 10) ☐ ☐ ★ 工事関係書類を過不足なく作成していることが確認できる。
- 11) ☐ ○ ☐ ☆ 社内の管理基準の設定、管理方法が工種毎に明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。
- 12) ☐ ☐ 閉鎖空間に出入りする場合、酸素欠乏症及び硫化水素中毒の防止措置を実施していることが確認できる。
- 13) ☐ ☐ 電気設備等について、設備更新時の新旧設備の切り替え作業を、作業手順書やチェックリストにより適切に実施していることが確認できる。
- 14) ☐ ☐ その他[理由: _____]

① ☐ ② ☐ 上記の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準

- 評価値が90%以上..... a
評価値が80%以上90%未満..... b
評価値が80%未満..... c

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

出来形

【出来形標準工事】

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

チェック欄

- d) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

- ◎ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合。
測定数が3点以上の場合にばらつき判定を行う。

- 評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目（安易に評価しない項目）

- 1) ☐ ★ 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。
2) ☐ ☆ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。
3) ☐ ☆ 不可視部分の出来形が写真により確認できる。
4) ☐ 写真管理基準の管理項目を満足している。
5) ☐ 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。
6) ☐ その他〔理由：_____〕

- ① ☐ 上記項目の合計

- ④ 評価 ばらつきの程度「50」or「80」を記入

- ① 出来形は、工事全般を通じての評価をするものとする。
② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。
③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。
④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。

● 判断基準

評価対象項目 の評価数	ばらつきで判断可能			
	規格値の 概ね50%以内	規格値の 概ね80%以内	規格値を満足	ばらつきで 判断不可能
4項目以上	a	b	c	b
3項目	a'	b	c	b
2項目	b'	b'	c	b'
1項目以下	c	c	c	c

注) 試験結果の打点数が3点未満の場合はばらつきで判断しない、評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ★ ICTを活用した施工に関する出来形のバラツキの判定方法は、「別紙－3②～⑤」の記入例を参照

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【結果として、とくに問題なく工事が完成するのが一般的である工事】

出来形

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

該当項目

d ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。

e ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合

c ☐ 結果として、とくに問題なく工事が完成している。

評価

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

出来形

【汚水管補修工事】

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

該当項目

d ☐
e ☐

出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | | | |
|-----|--------------------------|---|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ○ | ☐ | 補修等を設計図書及び施工計画書通り施工していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ○ | ☐ | 写真管理の管理項目を満足している。 |
| 3) | ☐ | | ☐ | 完了後の状況撮影記録により出来形の確認ができる。 |
| 4) | ☐ | | ☐ | 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 |
| 5) | ☐ | | ☐ | 補修全般にわたり、形状及び寸法が設計図書の許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 |
| 6) | ☐ | | ☐ | 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | | ☐ | 接着及び圧着の管理を適切にまとめており、出来形の確認ができる。 |
| 8) | ☐ | ○ | ☐ | ☆ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。※ |
| 9) | ☐ | | ☐ | 出来形管理を容易に把握できるよう工夫していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ○ | ☐ | 完成図書を現地と相違なく作成していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

※〈社内の管理基準に基づく管理〉

1. 社内の管理基準を県の規格値より厳しく定め、その基準に収めるための方策（基準内に収めるための工夫）を施工計画書に明記していること。
2. 社内の管理基準を超えた場合の対応を施工計画書に明記していること。
3. 管理図表に社内管理基準値を明示し管理していること。

④ 評価

ばらつき「50」or「80」or「80超」を記入

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価値だけで判断する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

出来形

【マンホール蓋取替・調整工事】

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

該当項目

d ☐
e ☐

出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | | | |
|-----|--------------------------|---|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ○ | ☐ | 取替・調整等を設計図書及び施工計画書通り施工していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ○ | ☐ | 出来形管理写真の管理項目を計画書の記載通り管理していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ○ | ☐ | 完了後の出来形が管理記録等で確認できる。 |
| 4) | ☐ | ○ | ☐ | 不可視部分の出来形が写真等で確認できる。 |
| 5) | ☐ | ○ | ☐ | 取替・調整全般にわたり、形状及び寸法が設計図書等の許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 |
| 6) | ☐ | | ☐ | 設計図書等で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ○ | ☐ | 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。※ |
| 8) | ☐ | | ☐ | 出来形管理を容易に把握できるよう工夫していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ○ | ☐ | 完成図書を現地と相違なく作成していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | | ☐ | 既設構造物との取り合いが、設計図書等に合致していることが完成図書及び工事写真等で確認できる。 |
| 11) | ☐ | ○ | ☐ | 路面復旧等を設計図書等に基づき適切に施工していることが、工事写真及び現地で確認できる。 |
| 12) | ☐ | | ☐ | その他〔理由〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

※〈社内の管理基準に基づく管理〉

1. 社内の管理基準を県の規格値より厳しく定め、その基準に収めるための方策（基準内に収めるための工夫）を施工計画書に明記していること。
2. 社内の管理基準を超えた場合の対応を施工計画書に明記していること。
3. 管理図表に社内管理基準値を明示し管理していること。

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

ばらつき「50」or「80」or「80超」を記入

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値()% = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価値だけで判断する。

土木工事～審査項目別チェック表（検査員用）

出来形

【宅内汚水ポンプ施設設置工事】

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

該当項目

d ☐
e ☐

出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | |
|-----------------------------|----------------------------|--|
| 1) ☐ | ○ ☐ | 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 |
| 2) ☐ | ○ ☐ | ☆ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。※ |
| 3) ☐ | ○ ☐ | 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ○ ☐ | 施設設置方法を、設計図書又は承諾図書のとおりに施工していることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | その他〔理由 _____〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

※〈社内の管理基準に基づく管理〉

1. 社内の管理基準を県の規格値より厳しく定め、その基準に収めるための方策（基準内に収めるための工夫）を施工計画書に明記していること。
2. 社内の管理基準を超えた場合の対応を施工計画書に明記していること。
3. 管理図表に社内管理基準値を明示し管理していること。

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
 ②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

- | | | |
|----------------|-------|----|
| 評価値が90%以上 | | a |
| 評価値が80%以上90%未満 | | a' |
| 評価値が70%以上80%未満 | | b |
| 評価値が60%以上70%未満 | | b' |
| 評価値が60%未満 | | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

出来形

【機械設備工事】

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

チェック欄

- d) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄 ○…評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目（安易に評価しない項目）

- | | | | |
|-----|--------------------------|----------------------------|--|
| 1) | ☐ | ○ ☐ | 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 |
| 2) | ☐ | ○ ☐ | 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 |
| 3) | ☐ | ○ ☐ | 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ○ ☐ | 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 |
| 8) | ☐ | ○ ☐ | 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 設計図書に定められている予備品に不足がないことが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 分解整備における既設部品等の摩耗・損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録されていることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他(理由: _____) |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①

%

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準

- | | | |
|----------------|-------|--------|
| 評価値が90%以上 | | 『 a 』 |
| 評価値が80%以上90%未満 | | 『 a' 』 |
| 評価値が70%以上80%未満 | | 『 b 』 |
| 評価値が60%以上70%未満 | | 『 b' 』 |
| 評価値が60%未満 | | 『 c 』 |

土木工事～考査項目別チェック表 (検査員用)

【電気設備工事】・【通信設備工事】・【受変電設備工事】

出来形

3. 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

チェック欄

- d) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄 ○…評価対象項目 ☆…注意を要する項目 ★…特に注意を要する項目(安易に評価しない項目)

- | | | | |
|-----|--------------------------|----------------------------|--|
| 1) | ☐ | ○ ☐ | 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 |
| 2) | ☐ | ○ ☐ | 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表及び出来形管理表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ○ ☐ | 写真管理基準の管理項目を満足している。 |
| 4) | ☐ | ○ ☐ | 不可視部分の出来形が写真により確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ○ ☐ | 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ○ ☐ | 設備の据え付け、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおりに施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ○ ☐ | 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設されていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ○ ☐ | 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けられている。 |
| 10) | ☐ | ○ ☐ | 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ○ ☐ | 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 設計図書に定められている予備品等に不足が無い。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 高温部等の危険箇所への二重表示、二重防護など運用における不可抗力を想定した安全対策がなされている。 |
| 14) | ☐ | ☐ | その他(理由: _____) |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①

%

④ 評価

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

● 判断基準

評価値が90%以上		『 a 』
評価値が80%以上90%未満		『 a' 』
評価値が70%以上80%未満		『 b 』
評価値が60%以上70%未満		『 b' 』
評価値が60%未満		『 c 』

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【水道工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

d ☐
e ☐

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | | | |
|-----|--------------------------|---|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ○ | ☐ | 掘削断面に崩壊、過掘がなく、施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ○ | ☐ | 材料の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ○ | ☐ | 材料の品質証明書を整備していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ○ | ☐ | 管及び付属品（仕切弁、空気弁等）の接合が適正であることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ○ | ☐ | 管の切断及び処理を共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ○ | ☐ | 管の布設等を共通仕様書等に基づき適切に施工していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ○ | ☐ | 埋設物明示テープを、設計図書の仕様に沿って適切に設置していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ○ | ☐ | コンクリート構造物等附属構造物の施工に、きめ細かな対応をしていることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ○ | ☐ | 継手部の会所掘り等を、設計図書等に基づき適切に施工していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ○ | ☐ | 仕様書等で示す条件により埋戻し、締固めを実施していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ○ | ☐ | 水圧試験を共通仕様書等に基づいて適切に実施していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ○ | ☐ | 土留工の施工に当たり、調査、検討等を十分に行っていることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ○ | ☐ | 土留工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ○ | ☐ | 品質管理が、共通仕様書等の管理項目を満足している。 |
| 15) | ☐ | ○ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 同種の材料及び試験項目ごとに判断し、測定数が10点未満の場合は、「ばらつきで判断不可能」とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【下水道工事（推進）】

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

d ☐
e ☐

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- 1) ☐ ☐ 工法は、着手前に監督員の承諾を得ており、土質の条件等に合った工法を採用していることが確認できる。
- 2) ☐ ☐ 材料の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。
- 3) ☐ ☐ 立坑の形状、位置、構造は監督員の承諾を得ており、土質条件等に対する検討を適切に行っていることが確認できる。
- 4) ☐ ☐ 使用材料の品質が、証明書又は試験成績書で確認できる。
- 5) ☐ ☐ 埋設物の位置確認、露出した埋設物の報告、協議、処理を適切に行っていることが確認できる。
- 6) ☐ ☐ 施工中の土質の変化、地下水の変化等の調査が適切に行われていることが確認できる。
- 7) ☐ ☐ 推進の方向測定、ジャッキ圧の測定等の管理記録を整理していることが確認できる。
- 8) ☐ ☐ ケーシング内のコンクリート打設を、施工計画書通り施工していることが確認できる。
- 9) ☐ ☐ ケーシング内のスライム及び水の処理方法が施工計画書で承諾され、現場において施工計画書通り処理していることが確認できる。
- 10) ☐ ☐ ライナープレートの組立てにおいて、土留め背面と掘削壁との間隙が生じないようにグラウト注入していることが確認できる。
- 11) ☐ ☐ 立坑内の掘削土の処理方法が、施工計画書で承諾され、適切に処理していることが確認できる。
- 12) ☐ ☐ 埋戻し材料、方法、及び路面復旧を設計図書に基づいて適切に施工していることが確認できる。
- 13) ☐ ☐ 管の接合等を設計図書及び共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。
- 14) ☐ ☐ 管の切断及びせん孔を、共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。
- 15) ☐ ☐ マンホールの布設及び接合を設計図書及び共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。
- 16) ☐ ☐ 調整モルタルの攪拌・充填を確実に、モルタル充填後の脱型を施工計画書に基づいて適切に行っていることが確認できる。
- 17) ☐ ☐ 土留工や路面覆工を適切に施工していることが確認できる。
- 18) ☐ ☐ 薬液注入を、共通仕様書等に基づいて実施していることが品質証明書等で確認できる。
- 19) ☐ ☐ 薬液注入工において、観測孔等を設け、地下水位・水質等の記録を整理していることが確認できる。
- 20) ☐ ☐ 薬液注入は、監督職員の承諾を得た後実施し、監督職員の立会いを受けている。また、材料の使用量が確認できる書類を整理し、注入効果の確認を行っていることが確認できる。
- 21) ☐ ☐ 中込め材・裏込め材等の材料の使用量が確認できる資料を整理している。
- 22) ☐ ☐ 品質管理が、共通仕様書及び施工管理基準等の項目を満足している。
- 23) ☐ ☐ その他〔理由〕

① ☐ ② ☐

上記項目の合計

③＝②÷①

%

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
- ②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%)＝該当項目数()/評価対象項目数()
- ④なお、評価対象項目数が6項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)同種の材料及び試験項目ごとに判断し、測定数が10点未満の場合は、「ばらつきで判断不可能」とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【下水道工事（開削）】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

d ☐
e ☐

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 使用材料の品質が、証明書又は試験成績書で確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 埋設物の位置確認、露出した埋設物の報告・協議・処理を適切に行っていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 材料の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないよう適切に施工していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 埋戻し材料・方法・路面復旧を、設計図書に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 基礎工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 管の布設・接合等を設計図書及び共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 管の切断及びせん孔を、共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | マンホールの布設及び接合を、設計図書及び共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 調整モルタルの攪拌・充填を確実にし、モルタル充填後の脱型を施工計画書に基づいて適切に行っていることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 土留工の施工に当たり、調査、検討等を十分に行っていることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 土留工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 路面覆工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | 品質管理が、共通仕様書及び施工管理基準等の管理項目を満足している。 |
| 16) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 同種の材料及び試験項目ごとに判断し、測定数が10点未満の場合は、「ばらつきで判断不可能」とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【下水道工事(圧送管)】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

d ☐
e ☐

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 掘削断面に崩壊・過掘りがなく、施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 材料の品質証明書を整備していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 管及び付属品の接合が適切であることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 管の切断及び処理を、共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 仕様書等で示す条件により埋戻し・締固めを実施していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 管の布設等を共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 埋設物明示テープを、設計図書の仕様に沿って適切に設置していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 点検口の構造を、設計図書に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 調整モルタルの攪拌・充填を確実にし、モルタル充填後の脱型を施工計画書に基づいて適切に行っていることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 水圧試験を共通仕様書等に基づいて適切に実施していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 土留工の施工に当たり、調査、検討等を十分に行っていることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 土留工を適切な方法で施工していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 品質管理が、共通仕様書及び施工管理基準等の管理項目を満足している。 |
| 15) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 同種の材料及び試験項目ごとに判断し、測定数が10点未満の場合は、「ばらつきで判断不可能」とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【污水管補修工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

- d ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
e ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- 1) ☐ ○ ☐ 使用材料の品質が製造証明書及び規格検査済を証明する資料で確認できる。
2) ☐ ○ ☐ 使用材料の種類、品質が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
3) ☐ ○ ☐ 現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。
4) ☐ ☐ 使用材料の要求性能評価書が確認できる。
5) ☐ ☐ 管渠の劣化状況をよく把握し、適切な対策を施していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 使用材料の保管を適切に行っていることが確認できる。
7) ☐ ☐ 補修前に管渠内及び人孔内の洗浄を入念に行い、出来形に悪影響を及ぼす障害物の除去を行っていることが確認できる。
8) ☐ ○ ☐ 補修作業は、監督員の承諾を得た後実施し、監督員の立会いを受けている。また、材料の使用量が確認できる書類を適切に整理している。
9) ☐ ☐ 補修方法が着手前に監督員の承諾を得ており、補修条件に合った工法を採用していることが確認できる。
10) ☐ ☐ 補修箇所の調査が入念に実施され、破損状況に合った補修方法を適切に行っていることが確認できる。
11) ☐ ☐ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。
12) ☐ ☐ 天候状況の確認、外気温測定を行い、材料の調合を実施していることが確認できる。
13) ☐ ☐ 接着・圧着洩れ、ながれ、しわ等が無く、接着及び圧着を行っていることが確認できる。
14) ☐ ○ ☐ 補修施工状況の管理記録を適切に整理していることが確認できる。
15) ☐ ☐ 試験片の採取状況が確認できる。
16) ☐ ☐ 品質の試験結果が、規格値を上回っていることが確認できる。
17) ☐ ☐ 品質管理を、品質管理計画に則り適切に行っていることが確認できる。
18) ☐ ☐ 施工後のメンテナンスに対する提言や、補修サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。
19) ☐ ☐ その他[理由 _____]

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 同種の材料及び試験項目ごとに判断し、測定数が10点未満の場合は、「ばらつきで判断不可能」とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【マンホール蓋取替・調整工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

- d ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
e ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | |
|------------------------------|----------------------------|---|
| 1) ☐ | ○ ☐ | 使用材料の種類、品質が設計図書等の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ○ ☐ | 使用材料の品質が、証明書又は試験成績書から確認できる。 |
| 3) ☐ | ○ ☐ | 現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ○ ☐ | 使用材料の保管を適切に行っていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ○ ☐ | 埋設物の位置確認、報告・協議・処理を適切に行っていることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ○ ☐ | 舗装版の切断、剥取り等を施工計画書に基づいて適切に行っていることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ○ ☐ | 布設及び接合を、設計図書及び共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ○ ☐ | 埋戻し材料・方法・路面復旧等を設計図書に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 9) ☐ | ○ ☐ | 取替・調整方法が着手前に監督員の承諾を得ており、条件に合った工法を採用していることが確認できる。 |
| 10) ☐ | ○ ☐ | 取替・調整作業は、監督員の承諾を得た後実施し、監督員の立会いを受けている。 |
| 11) ☐ | ○ ☐ | 調整モルタルの攪拌・充填を確実にしていることが確認できる。 |
| 12) ☐ | ○ ☐ | モルタル充填後の脱型を施工計画書を基に適切に行っていることが確認できる。 |
| 13) ☐ | ○ ☐ | 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。 |
| 14) ☐ | ○ ☐ | 品質管理を、管理計画に則り適切に行っていることが確認できる。 |
| 15) ☐ | ○ ☐ | マンホールの足掛金物の位置・蓋開閉に支障ない方向を確認して施工していることが確認できる。 |
| 16) ☐ | ○ ☐ | アンカーボルトを路面に露出しないよう施工していることが確認できる。 |
| 17) ☐ | ○ ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)同種の材料及び試験項目ごとに判断し、測定数が10点未満の場合は、「ばらつきで判断不可能」とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【宅内汚水ポンプ施設設置工事】

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

- d ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
e ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

●評価対象項目 該当項目

- | | | | | |
|-----|--------------------------|---|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ○ | ☐ | 使用材料の種類、品質が設計図書等の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ○ | ☐ | 使用材料の品質が、証明書又は試験成績書から確認できる。 |
| 3) | ☐ | ○ | ☐ | 材料の保管が適切であり、損傷がないことが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ○ | ☐ | 掘削断面に崩壊・過掘りがなく、施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ○ | ☐ | 仕様書等で示す条件により埋戻し・締固めを実施していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ○ | ☐ | 汚水ポンプ施設及び管の布設等を、共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ○ | ☐ | 汚水ポンプ施設及び管の接合等を、設計図書及び共通仕様書等に基づいて適切に施工していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ○ | ☐ | 操作盤を、見やすい場所及び操作しやすい高さに設置している。 |
| 9) | ☐ | ○ | ☐ | ケーブル及び電線管を、操作や安全に支障がないよう固定若しくは埋設している。 |
| 10) | ☐ | ○ | ☐ | 品質管理が、共通仕様書及び施工管理基準等の管理項目を満足している。 |
| 11) | ☐ | | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①評価対象項目並びに該当項目にチェックする。
②評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、評価対象項目数が4項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 同種の材料及び試験項目ごとに判断し、測定数が10点未満の場合は、「ばらつきで判断不可能」とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【機械設備工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 設計図書の仕様をふまえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、正常に作動することが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し、品質が確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 小配管、電気配線・配管が承諾図書のとおり敷設されていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 設備の取扱い説明書を適切に作成していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法についてまとめてあることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 機器の配置について、点検しやすいことが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 設備の構造や機器の配置が部品等の交換作業を容易にできることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 |
| 16) | ☐ | ☐ | 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 |
| 17) | ☐ | ☐ | 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 |
| 18) | ☐ | ☐ | 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 |
| 19) | ☐ | ☐ | 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 |
| 20) | ☐ | ☐ | その他[理由 <input type="text"/> |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合C評価とする。

●判断基準

- | | |
|------------------|----------|
| ※ 評価値が90%以上 | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【電気設備工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認出来ない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 設備全体についての取扱い説明書を適切に作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 障害、災害発生を想定した代替機能、迂回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 設備の耐震設計について、受注者自らが確認、精査したことが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。
③評価値（ %）＝該当項目数（）/評価対象項目数（）
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

- | | |
|------------------|----------|
| ※ 評価値が90%以上 | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【通信設備工事・受変電設備工事】

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等との適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料が整備していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能が工場試験記録により確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 設備全体についての取扱い説明書を適切に作成していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 障害、災害発生を想定した代替機能、迂回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認していることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | 設備の耐震設計について、受注者自らが確認、精査したことが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。
③評価値（ %）＝該当項目数（）／評価対象項目数（）
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

- | | |
|------------------|----------|
| ※ 評価値が90%以上 | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【コンクリート構造物工事】

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞
[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、及び締め固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) |
| 5) ☐ | ☐ | コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | コンクリートの打設前に、打ち継ぎ目処理が適切に行われていることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 |
| 9) ☐ | ☐ | 鉄筋の組み立て及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 |
| 10) ☐ | ☐ | 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 |
| 11) ☐ | ☐ | コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 12) ☐ | ☐ | スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様書に定められた条件を満足することが確認できる。 |
| 13) ☐ | ☐ | 有害なひび割れが無い。 |
| 14) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

[コンクリート構造物品質確認ガイドの適用範囲に示される構造物]

- 15) ☐ ☐ ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる。
□ ※ひび割れが補修基準に達している場合、補修が適切に行われていなければ、上記1)～15)の評価によらず、d又はe評価とする。

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【土工事(切土、盛土、堤防等工事)】

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
- e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

- | | | |
|-----|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | 段切りを設計図書の仕様書に基づき行われていることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | 締め固めが仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | 構造物周辺の締め固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | 法面に有害な亀裂がない。 |
| 11) | ☐ | 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
- ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【結果として、とくに問題なく工事が完成するのが一般的な工事】

修繕・補修など規模の小さい工事

解体工事（解体後の残存物がなく、整地されている。）

その他、とくに問題なく工事が完成するのが一般的な工事

品質管理図ができないため、品質のばらつき判定が出来ない工事

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

該当項目

d ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。

e ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

◎品質関係の測定方法又は測定値を満足している場合

c ☐ 結果として、とくに問題なく工事が完成している。

評価

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【舗装工事】

3. 出来形及び出来ばえ

品質

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【路床・路盤工関係】

- 1) ☐ ☐ 設計図書に定められた試験方法でCBR値を、測定していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 路床及び路盤工のブルーフローリングを、行っていることが確認できる。
3) ☐ ☐ 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう、施工していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を、除去してから施工していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。
7) ☐ ☐ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。
8) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【アスファルト舗装工関係】

- 1) ☐ ☐ アスファルト混合物の品質が配合設計及び試験練りの結果または、事前審査制度の証明書類により確認できる。
2) ☐ ☐ 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。
3) ☐ ☐ ブラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
4) ☐ ☐ 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。
6) ☐ ☐ 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
7) ☐ ☐ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
9) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【コンクリート舗装工関係】

- 1) ☐ ☐ コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
2) ☐ ☐ 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
4) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
5) ☐ ☐ 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 材料が分離しないようコンクリートを数均していることが確認できる。
7) ☐ ☐ チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
8) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

① ☐ ② ☐

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
② 削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%超える	
評価値				
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【法面工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)
2) ☐ 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。
3) ☐ 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分に行なっていることが確認できる。
4) ☐ 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
5) ☐ その他〔理由〕

【種子吹き付け工、客土吹き付け工、植生基材吹き付け工関係】

- 1) ☐ 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。
2) ☐ ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。
3) ☐ ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。
4) ☐ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。
5) ☐ 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
6) ☐ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。
7) ☐ その他〔理由〕

【コンクリート又はモルタル吹き付け工関係】

- 1) ☐ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。
3) ☐ 金網が破損を生じていないことが確認できる。
4) ☐ 吸水性の吹き付け面において、事前に吸水させてから施工されていることが確認できる。
5) ☐ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。
6) ☐ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。
7) ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
8) ☐ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
9) ☐ 法肩の吹き付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工されていることが確認できる。
10) ☐ その他〔理由〕

【現場打設枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】

- 1) ☐ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。
3) ☐ 現場養生が設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。
4) ☐ 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
5) ☐ 枠内に空隙がないことが確認できる。
6) ☐ 層間にはく離が無いことが確認できる。
7) ☐ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
8) ☐ その他〔理由〕

① ☐ ② ☐

③ = ② ÷ ① %

④ 評価

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
② 削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～審査項目別チェック表（検査員用）

【基礎工事及び地盤改良工事】

3. 出来形及び出来ばえ

品質

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打ち、深礎等)】

- 1) ☐ ☐ 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。
2) ☐ ☐ 既設杭の打ち止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。
4) ☐ ☐ 水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認できる。
5) ☐ ☐ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
6) ☐ ☐ 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。
7) ☐ ☐ 場所打ち杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が設計図書を満足していることが確認できる。
9) ☐ ☐ 配筋、スパーサーの配置及びコンクリート打設等が設計図書を満足していることが確認できる。
10) ☐ ☐ ライナープレートを組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
11) ☐ ☐ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。
12) ☐ ☐ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。
13) ☐ ☐ その他〔理由 〕

【地盤改良関係】

- 1) ☐ ☐ 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
2) ☐ ☐ セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を、整理していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。
4) ☐ ☐ 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。
5) ☐ ☐ その他〔理由 〕

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【塗装工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | ケレンを入念に実施していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行なっていることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | その他〔理由 <input type="text"/> 〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～検査項目別チェック表（検査員用）

【防護柵(網)・標識・区画線等設置工事】

3. 出来形及び出来ばえ

品質

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | ☐ | 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 |
| 2) | ☐ | ☐ | 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して施工していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 防護柵の支柱の根入れ長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | ガードケールを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力が与えられているのが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | ガードケールの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 12) | ☐ | ☐ | 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほりを取り除いて行っていることが確認できる。 |
| 13) | ☐ | ☐ | 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 |
| 14) | ☐ | ☐ | プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 |
| 15) | ☐ | ☐ | 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| 16) | ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
② 削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【維持工事(清掃工・除草工・付属物工・除雪・応急処理など)】

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
- e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 使用する材料品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。
- 2) ☐ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
- 3) ☐ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
- 4) ☐ 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。
- 5) ☐ 理由
- 6) ☐ 理由
- 7) ☐ 理由
- 8) ☐ 理由

☐ 上記項目の合計

④ 評価

●判断基準

- ※ 該当項目が6項目以上 a
- ※ 該当項目が5項目 a'
- ※ 該当項目が4項目 b
- ※ 該当項目が3項目 b'
- ※ 該当項目が2項目以下 c

注) 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。
ただし、評価対象項目は最大8項目とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【修繕工事(落橋防止の新設維持更新、橋脚補強、耐震補強など)】

品質

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。
2) ☐ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
3) ☐ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
4) ☐ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。
5) ☐ 理由
6) ☐ 理由
7) ☐ 理由
8) ☐ 理由

☐ 上記項目の合計

④ 評価

●判断基準

- ※ 該当項目が6項目以上 a
※ 該当項目が5項目 a'
※ 該当項目が4項目 b
※ 該当項目が3項目 b'
※ 該当項目が2項目以下 c

注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。
ただし、評価対象項目は最大8項目とする。

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【二次製品構造物工事、小型構造物工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

品質関係の試験結果のばらつきと、評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙－3参照。

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

● 評価対象項目 チェック欄

【共通】

- 1) ☐ ☐ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
2) ☐ ☐ 製品に有害なひび割れ等の損傷がないことが確認できる。
3) ☐ ☐ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
4) ☐ ☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
5) ☐ ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
6) ☐ ☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
7) ☐ ☐ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
8) ☐ ☐ 埋戻し材料等の材質及び締固めが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
9) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【プレキャスト側溝関係】

- 1) ☐ ☐ 継ぎ目部が、付着、水密性を保ち、段差がないことが確認できる。
2) ☐ ☐ 側溝蓋が、側溝本体及び路面と段差が生じないように施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 設計図書で定められた勾配を確保し、滞水が生じていないことが確認できる。
4) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【プレキャスト擁壁工関係】

- 1) ☐ ☐ 壁体相互に食い違いが生じていないことが確認できる。
2) ☐ ☐ 目地施工について、付着・水密性を保つよう施工していることが確認できる。
3) ☐ ☐ 基礎材料の材質及び締固めが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
4) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

【ボックスカルバート工関係】

- 1) ☐ ☐ 基礎地盤の許容支持力を把握しながら施工していることが確認できる。
2) ☐ ☐ 下流側又は低い方から設置し、接合面に食い違いが無いことが確認できる。
3) ☐ ☐ 接合部に漏水が生じていないことが確認できる。
4) ☐ ☐ ボックスカルバートの縦締めを「道路土工－カルバート工指針」に基づき施工していることが確認できる。
5) ☐ ☐ その他〔理由 _____〕

- ① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値()% = 該当項目数() / 評価対象項目数()

④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

● 判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注)試験結果の測定数が10点未満でばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

土木工事～審査項目別チェック表（検査員用）

品質

【河川浚渫工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
 e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

●評価対象項目 チェック欄

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | ☐ | 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 |
| 2) | ☐ | ☐ | ★ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| 3) | ☐ | ☐ | 浚渫工の施工が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 4) | ☐ | ☐ | 河川管理施設、許可工作物等、他の施設の機能に支障を与えていないことが確認できる。 |
| 5) | ☐ | ☐ | 残土処理等を適正に処理していることが確認できる。 |
| 6) | ☐ | ☐ | 残土等の水切りを十分処理していることが確認できる。 |
| 7) | ☐ | ☐ | 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| 8) | ☐ | ☐ | 浚渫時に土砂と草木等を分別していることが確認できる。 |
| 9) | ☐ | ☐ | 施工区域内及び周辺の構造物の根入れ等に影響を与えていないことが確認できる。 |
| 10) | ☐ | ☐ | ★ 生態系の保全に十分配慮した上で施工していることが確認できる。 |
| 11) | ☐ | ☐ | その他〔理由 _____〕 |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①
 %

④ 評価

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合c評価とする。

●判断基準

- | | |
|------------------|----------|
| ※ 評価値が90%以上 | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

品質

【撤去工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

チェック欄

- d) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。
e) ☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

◎ 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足している場合。

●評価対象項目 チェック欄

【共通】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 本体構造物の一部を撤去する場合には、本体構造物に損傷を与えないように施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 供用中の施設に損傷及び機能上の悪影響が生じないよう施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 建設副産物を適正に処理していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 建設発生土を適正に処理していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 穀運搬処理及び発生材運搬において、運搬物が飛散しないように適正な処置を行っていることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 工事の完成に際して、片付け、撤去、清掃が適切に行われていることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | ★ 環境保全に特に配慮していることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【旧橋撤去工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 旧橋撤去にあたり、振動、騒音、粉塵、汚濁水等により、第三者に被害を及ぼさないよう施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 床版破砕及び撤去に伴い、適切な工法を検討し施工していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 旧橋撤去にあたり、適切に足場を管理していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 旧橋撤去にあたり、適切に資材の落下防止対策を講じていることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【撤去工（一般構造物）関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 他に影響を与えないよう舗装版を取壊していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 舗装版の切断を適正な方法で施工、処理していることが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 石積み取壊し、コンクリートブロック撤去及び吹付法面取壊しを行うにあたっては、地山法面の雨水による浸食や土砂崩れを発生させないよう施工していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | 本体の部材に悪影響を与えないように鋼材を切断していることが確認できる。 |
| 5) ☐ | ☐ | 鋼矢板及びH鋼杭の引抜き跡の空洞を充てんしていることが確認できる。 |
| 6) ☐ | ☐ | 根固めブロックの撤去にあたっては、付着した土砂、泥土、ゴミを現場内において取り除いた後、運搬していることが確認できる。 |
| 7) ☐ | ☐ | コンクリート表面処理を適正な方法で施工していることが確認できる。 |
| 8) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

【伐採工関係】

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| 1) ☐ | ☐ | 地拵え(伐倒、刈払、枝条整理等)を適切に施工していることが確認できる。 |
| 2) ☐ | ☐ | 残存木に損傷がないことが確認できる。 |
| 3) ☐ | ☐ | 伐採木の撤去にあたっては、付着した土砂、泥土、ゴミを現場内において取り除いた後、運搬していることが確認できる。 |
| 4) ☐ | ☐ | その他[理由 _____] |

① ☐ ② ☐ 上記項目の合計

③ = ② ÷ ①

%

④ 評価

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

②削除項目のある場合削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には○評価とする。

●判断基準

- | | |
|------------------|----------|
| ※ 評価値が90%以上 | a |
| ※ 評価値が80%以上90%未満 | a' |
| ※ 評価値が70%以上80%未満 | b |
| ※ 評価値が60%以上70%未満 | b' |
| ※ 評価値が60%未満 | c |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【水道工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 2) | ☐ | 管の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | バルブの位置が適切である。 |
| 4) | ☐ | 路面の復旧状態が良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【下水道工事(管渠・推進)】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|------------------------------|
| 1) | ☐ | 管渠の通りが良い。 |
| 2) | ☐ | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 3) | ☐ | 路面の復旧状態とマンホールの設置状態が良い。 |
| 4) | ☐ | 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【下水道工事(圧送管)】

3. 出来形及び出来ばえ

出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 2) | ☐ | 管の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 点検口の位置が維持管理しやすい場所である。 |
| 4) | ☐ | 路面の復旧状態と点検口の設置状態が良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【污水管補修工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|-------------------------------|
| 1) | ☐ | 補修表面が滑らかである。 |
| 2) | ☐ | 端部の処理が良い。 |
| 3) | ☐ | 細部まできめ細かな施工がされている。 |
| 4) | ☐ | 施工管理記録から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【マンホール蓋取替・調整工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- 1) ☐ 細部まできめ細かな施工がされている。
- 2) ☐ 路面の復旧状態とマンホールの設置状態が良い。
- 3) ☐ 施工管理記録から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
- 4) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当3項目以上..... a
- 該当2項目..... b
- 該当1項目..... c
- 該当項目なし..... d

【宅内汚水ポンプ施設設置工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- 1) ☐ 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
- 2) ☐ コンクリートスラブの表面及び端部の仕上がりが良い
- 3) ☐ 汚水ポンプ槽及び操作盤の位置が適切である。
- 4) ☐ 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。
- 5) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
- 該当3項目..... b
- 該当2項目..... c
- 該当1項目以下..... d

機械設備工事～考査項目別チェック表（検査員用）

出来ばえ

【機械設備工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 |
| 2) | ☐ | きめ細かな施工がなされている。 |
| 3) | ☐ | 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 |
| 4) | ☐ | 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

--

●判断基準

- | | |
|--------------|---|
| 該当4項目以上..... | a |
| 該当3項目..... | b |
| 該当2項目..... | c |
| 該当1項目以下..... | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【電気設備工事】

3. 出来形及び出来ばえ

出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ きめ細やかな施工がなされている。
- 2) ☐ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。
- 3) ☐ 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。
- 4) ☐ ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。
- 5) ☐ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
- 6) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上…………… a
 該当3項目…………… b
 該当2項目…………… c
 該当1項目以下…………… d

【通信設備工事 受変電設備工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がなされている。
- 2) ☐ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。
- 3) ☐ 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。
- 4) ☐ 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。
- 5) ☐ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
- 6) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上…………… a
 該当3項目…………… b
 該当2項目…………… c
 該当1項目以下…………… d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【コンクリート構造物工事】【砂防構造物工事】【海岸工事】【トンネル工事】

3. 出来形及び出来ばえ

出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ コンクリート構造物の表面状態が良い。
- 2) ☐ コンクリート構造物の通りが良い。
- 3) ☐ 天端及び端部の仕上がりが良い。
- 4) ☐ ひび割れがない。
- 5) ☐ 漏水がない。
- 6) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
 該当3項目..... b
 該当2項目..... c
 該当1項目以下..... d

【土工事(盛土・築堤工事等)】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 仕上がりが良い。
- 2) ☐ 通りが良い。
- 3) ☐ 天端及び端部の仕上がりが良い。
- 4) ☐ 構造物へのすりつけなどが良い。
- 5) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
 該当3項目..... b
 該当2項目..... c
 該当1項目以下..... d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【切土工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1) | ☐ | 規定された勾配が確保されている。 |
| 2) | ☐ | 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 |
| 3) | ☐ | 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 |
| 4) | ☐ | 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 |
| 5) | ☐ | 関係構造物等との取り合いが適切に施工されている。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

【護岸・根固・水制工事 石・ブロック積(張)工事（護岸工事以外）】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------------|
| 1) | ☐ | 通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 材料のかみ合わせが良く、ひび割れがない。 |
| 3) | ☐ | 天端及び端部の仕上げがよい。 |
| 4) | ☐ | 既設構造物とのすりつけが良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【鋼橋工事】

出来ば

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|---------------|
| 1) | ☐ | 表面に補修箇所がない。 |
| 2) | ☐ | 部材表面に傷及び錆がない。 |
| 3) | ☐ | 溶接に均一性がある。 |
| 4) | ☐ | 塗装に均一性がある。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【地すべり防止工事 アンカー工事(グラウンドアンカー工)】

【切土補強土工事(鉄筋挿入工) 地下水排除工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------------------|
| 1) | ☐ | 地山との取り合いが良い。 |
| 2) | ☐ | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 3) | ☐ | 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 4) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【舗装工事】

3. 出来形及び出来ばえ

出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 舗装の平坦性が良い。 |
| 2) | ☐ | 構造物の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 4) | ☐ | 構造物へのすりつけ等が良い。 |
| 5) | ☐ | 雨水処理が良い。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【法面工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- | | | |
|----|--------------------------|------------------|
| 1) | ☐ | 通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 植生、吹付等の状態が均一である。 |
| 3) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 4) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～審査項目別チェック表（検査員用）

【基礎工工事（地盤改良等を含む）】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 土工関係の仕上がりが良い。
 - 2) ☐ 通りが良い。
 - 3) ☐ 端部及び天端の仕上がりが良い。
 - 4) ☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
(地盤改良工事についても基礎工工事と同じ判断基準による)
- 計 ☐

評価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
 該当3項目..... b
 該当2項目..... c
 該当1項目以下..... d

【コンクリート橋上部工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ コンクリート構造物の表面状態が良い。
- 2) ☐ コンクリート構造物の通りが良い。
- 3) ☐ 天端及び端部の仕上がりが良い。
- 4) ☐ 支承部の仕上がりが良い。
- 5) ☐ ひび割れがない。
- 6) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

評価

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
 該当3項目..... b
 該当2項目..... c
 該当1項目以下..... d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【塗装工事（工場塗装を除く）】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 塗装の均一性が良い。
- 2) ☐ 細部まできめ細やかな施工がされている。
- 3) ☐ 補修箇所が無い。
- 4) ☐ ケレンの施工状況が良好である。
- 5) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
- 該当3項目..... b
- 該当2項目..... c
- 該当1項目以下..... d

【植栽工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 樹木の活着状況が良い。
- 2) ☐ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。
- 3) ☐ 支柱の取り付けが堅固である。
- 4) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
- 該当3項目..... b
- 該当2項目..... c
- 該当1項目以下..... d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【防護柵（網）工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|------------------|
| 1) | ☐ | 通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 3) | ☐ | 部材表面に傷及び錆がない。 |
| 4) | ☐ | 既設構造物等とのすり付けが良い。 |
| 5) | ☐ | きめ細やかに施工されている。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

【標識工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------------|
| 1) | ☐ | 設置位置に配慮がある。 |
| 2) | ☐ | 標識板の向き並びに角度、及びその支柱の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 標識板の支柱に変色がない。 |
| 4) | ☐ | 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【区画線工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------|
| 1) | ☐ | 塗料の塗布が均一である。 |
| 2) | ☐ | 視認性が良い。 |
| 3) | ☐ | 接着状態が良い。 |
| 4) | ☐ | 施工前の清掃が入念に実施されている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【電線共同溝工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1) | ☐ | 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 |
| 2) | ☐ | プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 |
| 3) | ☐ | 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 4) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【維持修繕工事】【修繕工事】【道路修繕工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 小構造物等にも注意が払われている。
- 2) ☐ きめ細かな施工がなされている。
- 3) ☐ 既設構造物とのすりつけが良い。
- 4) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
- 該当3項目..... b
- 該当2項目..... c
- 該当1項目以下..... d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【港湾築造工事（海岸築造工事を含む）】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | 構造物等の通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 3) | ☐ | 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 |
| 4) | ☐ | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |
| 6) | ☐ | ひび割れが無い。（コンクリート工事が含まれる場合） |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。（安易に評価しない項目）

評 価

●判断基準

（コンクリート工事がある場合）

- | | |
|---------|---|
| 該当5項目以上 | a |
| 該当4項目 | b |
| 該当3項目 | c |
| 該当2項目以下 | d |

（コンクリート工事がない場合）

- | | |
|---------|---|
| 該当4項目以上 | a |
| 該当3項目 | b |
| 該当2項目 | c |
| 該当1項目以下 | d |

【港湾浚渫工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|-------------------------------|
| 1) | ☐ | 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 |
| 2) | ☐ | 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 3) | ☐ | 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 |
| 4) | ☐ | 浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。 |

計 ☐

評 価

●判断基準

- | | |
|---------|---|
| 該当3項目以上 | a |
| 該当2項目 | b |
| 該当1項目 | c |
| 該当項目なし | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【ブロック製作工事(ケーソン陸上製作工事を含む)】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|-------------------|
| 1) | ☐ | コンクリートの肌が良い。 |
| 2) | ☐ | コンクリート構造物の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 天端仕上げ、端部の仕上げ等が良い。 |
| 4) | ☐ | ひび割れがない。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【かご工事 二次製品構造物工事・小型構造物工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|------------------|
| 1) | ☐ | 通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 既設構造物とのすりつけが良い。 |
| 3) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 4) | ☐ | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【河川浚渫工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 規定された水深・勾配が確保されている。
- 2) ☐ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。
- 3) ☐ 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。
- 4) ☐ 自然環境との調和が図られている。

計 ☐

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上…………… a
 該当3項目…………… b
 該当2項目…………… c
 該当1項目以下…………… d

【矢板護岸工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 土工関係の仕上げが良い。
- 2) ☐ 通りが良い。
- 3) ☐ きめ細やかな施工がなされている。
- 4) ☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。
- 5) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上…………… a
 該当3項目…………… b
 該当2項目…………… c
 該当1項目以下…………… d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【鋼製自在枠工事 木製構造物工事(木製ダム)】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 構造物の通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 3) | ☐ | 部材表面に傷及びさびが無い。 |
| 4) | ☐ | 地山との取り合わせが良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【砂防ソイルセメント工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------|
| 1) | ☐ | 構造物の通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 天端及び端部の仕上げが良い。 |
| 3) | ☐ | 壁面材にひび割れや損傷がない。 |
| 4) | ☐ | 漏水が無い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【落石防止網設置工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 地山との取り合いが良い。 |
| 2) | ☐ | 金網やロープのたるみがない。 |
| 3) | ☐ | きめ細やかに施工されている。 |
| 4) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

【補強土壁工事 軽量盛土工事(EPS)】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------|
| 1) | ☐ | 通りが良い。 |
| 2) | ☐ | 既設構造物とのすりつけが良い。 |
| 3) | ☐ | きめ細やかに施工されている。 |
| 4) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【遊戯施設整備工事(公園施設)】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|------------------|
| 1) | ☐ | 仕上げが良い。 |
| 2) | ☐ | きめ細やかな施工がなされている。 |
| 3) | ☐ | 設置位置に配慮がある。 |
| 4) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

【魚礁製作工事 魚礁設置・投入工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 部材表面に傷及びさびが無い。 |
| 2) | ☐ | 通りが良い。 |
| 3) | ☐ | きめ細やかに施工されている。 |
| 4) | ☐ | 沈設位置の精度が良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【ブロック舗装工事】

3. 出来形及び出来ばえ

出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 舗装の平坦性が良い。 |
| 2) | ☐ | 目地の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 4) | ☐ | 構造物へのすり付け等が良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【グランドコート舗装工事(クレー舗装)(アンツーカー舗装)(ウレタン舗装)】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 舗装の平坦性が良い。 |
| 2) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 3) | ☐ | 構造物へのすり付け等が良い。 |
| 4) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【仮設工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 土工関係の仕上げが良い。
- 2) ☐ 通りが良い。
- 3) ☐ 細部まできめ細やかな施工がされている。
- 4) ☐ 端部処理が良い。
- 5) ☐ ★ 全体的な美観が良い。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
 該当3項目..... b
 該当2項目..... c
 該当1項目以下..... d

【撤去工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

●評価対象項目

チェック欄

- 1) ☐ 土工関係の仕上げが良い。
- 2) ☐ 既存構造物または周辺との取り合いが特に良い。
- 3) ☐ きめ細やかな施工がなされている。
- 4) ☐ ★ 全体的な美観が良好である。

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上..... a
 該当3項目..... b
 該当2項目..... c
 該当1項目以下..... d

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【ほ場整備工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------------|
| 1) | ☐ | 整地仕上がりが良い。 |
| 2) | ☐ | 石礫、雑物等が適切に処理されている。 |
| 3) | ☐ | 営農に十分配慮された施工がなされている。 |
| 4) | ☐ | 水路、道路の通りが良い。 |
| 5) | ☐ | 法面仕上がりが良い。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

【汎用化対策工事(湧水処理)】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | 畦畔等の埋戻し部の施工、仕上がりが良い。 |
| 2) | ☐ | 石礫、雑物及び残土が適切に処理されている。 |
| 3) | ☐ | 営農に十分配慮された施工がなされている。 |
| 4) | ☐ | 管渠等(吸水渠、集水渠、弾丸暗渠等)の通りが良い。 |
| 5) | ☐ | 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 6) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～5)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当5項目以上 | | a |
| 該当4項目 | | b |
| 該当3項目 | | c |
| 該当2項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【ため池工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------------|
| 1) | ☐ | 土工の仕上がりが良い。 |
| 2) | ☐ | 通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 天端及び端部の仕上がりが良い。 |
| 4) | ☐ | 構造物等の表面及び端部の仕上がりが良い。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【管水路工事(パイプライン)】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------|
| 1) | ☐ | 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 |
| 2) | ☐ | 管の通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 漏水がない。 |
| 4) | ☐ | 路面復旧が適正に施工されている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な仕上がりが良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【獣害防止柵設置工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------|
| 1) | ☐ | 部材表面に傷、錆等が無い。 |
| 2) | ☐ | 通りが良い。 |
| 3) | ☐ | 端部処理が良い。 |
| 4) | ☐ | きめ細やかな施工がされている。 |
| 5) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～4)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当4項目以上 | | a |
| 該当3項目 | | b |
| 該当2項目 | | c |
| 該当1項目以下 | | d |

【植栽(森林)工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------------|
| 1) | ☐ | 植栽地の全体的な美観が良い。 |
| 2) | ☐ | 枝条等は等高線上に適切に整理されている。 |
| 3) | ☐ | 植栽木の配植が良い。 |
| 4) | ☐ | ★ 簡易施設は適切で美観が良い。 |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | | |
|---------|-------|---|
| 該当3項目以上 | | a |
| 該当2項目 | | b |
| 該当1項目 | | c |
| 該当項目なし | | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【本数調整伐】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------------|
| 1) | ☐ | 伐採木は枝払い・玉切りされ、棚状に整理されている。 |
| 2) | ☐ | ★ 全体的に美観が良い。 |
| 3) | ☐ | 理由: _____ |
| 4) | ☐ | 理由: _____ |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評価

●判断基準

- | | |
|---------|---|
| 該当3項目以上 | a |
| 該当2項目 | b |
| 該当1項目 | c |
| 該当項目なし | d |

【除伐】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|------------------------------------|
| 1) | ☐ | 伐採木等の整理は適切である。 |
| 2) | ☐ | 蔓茎類は丁寧に切断・除去されている。 |
| 3) | ☐ | 植栽木に被害を与える恐れのある、丈径木(雑木)は巻枯しを行っている。 |
| 4) | ☐ | ★ 全体的に美観が良い。 |
| 5) | ☐ | 理由: _____ |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)～3)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評価

●判断基準

- | | |
|---------|---|
| 該当4項目以上 | a |
| 該当3項目 | b |
| 該当2項目 | c |
| 該当1項目以下 | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【枝落し】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|----------------|
| 1) | ☐ | 枯れ枝は全て除去されている。 |
| 2) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |
| 3) | ☐ | 理由: _____ |
| 4) | ☐ | 理由: _____ |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | |
|---------|---|
| 該当3項目以上 | a |
| 該当2項目 | b |
| 該当1項目 | c |
| 該当項目なし | d |

【下刈り】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------|
| 1) | ☐ | 刈払物は植栽木の列間に整理されている。 |
| 2) | ☐ | ★ 全体的な美観が良い。 |
| 3) | ☐ | 理由: _____ |
| 4) | ☐ | 理由: _____ |

計 ☐

★ 上記評価対象項目1)の評価結果を踏まえ、特に美観に優れている場合は評価する。(安易に評価しない項目)

評 価

●判断基準

- | | |
|---------|---|
| 該当3項目以上 | a |
| 該当2項目 | b |
| 該当1項目 | c |
| 該当項目なし | d |

土木工事～考査項目別チェック表（検査員用）

【上記以外の工事又は合併工事】

出来ばえ

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- | | | |
|----|--|-----------|
| 1) | | 理由: _____ |
| 2) | | 理由: _____ |
| 3) | | 理由: _____ |
| 4) | | 理由: _____ |
| 5) | | 理由: _____ |

計

評 価

●判断基準

- 該当4項目以上…………… a
- 該当3項目…………… b
- 該当2項目…………… c
- 該当1項目以下…………… d

【結果として、とくに問題なく完成するのが一般的な工事】

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ

該当項目

- c 結果として、とくに問題なく工事が完成している。
- d 出来ばえが悪く、標準より劣ると思われる場合。

評 価